

2008年9月24日

関西 TLO 技術情報クラブ 第 2 回例会のご案内

関西ティール・エル・オー株式会社

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、関西 TLO 技術情報クラブに対し、格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2008 年度第 2 回目の「関西 TLO 技術情報クラブ例会」を下記のとおり開催致します。

今回は、『画像認識・画像処理』にテーマを絞り、和歌山大学 システム工学部 情報通信システム学科 和田俊和(わだ としかず)教授、およびオムロン株式会社 技術本部 勞世竝(LAO Shihong)様に本テーマに関するご講演をお願いしております。大学と企業における最新技術のご紹介を中心に、ご参加頂いた方も交えてディスカッションするお時間を設けたいと存じます。

ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、是非ともご参加賜りますようよろしくお願い申し上げます。

大変お手数ですが、10月3日(金)17:00までにメール(tlo@kansai-tlo.co.jp)にてお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

(メールがご利用できない場合は、FAX でも結構です。)

記

1. 日時 2008年10月10日(金) 15:00 ~ 17:00(予定)
2. 場所 キャンパスプラザ京都 6F 会議室
3. 会費 会員様 無料
非会員様 5,000円(当日会場でお支払い下さい。)
4. スケジュール
15:00 - 15:45 ご講演
『画像からの対象検出、追跡、認識法』
和田 俊和 教授(和歌山大学システム工学部情報通信システム学科)
15:45 - 16:30 ご講演
『画像から顔を検出、認識するための技術およびその実用化』
勞 世竝 氏(オムロン株式会社技術本部 コアテクノロジーセンタ 専門職)
16:30 - 17:00 参加者を交えたディスカッション

以上

問い合わせ先:

関西 TLO(株) TLO技術情報クラブ事務局 担当:古田

E-mail:tlo@kansai-tlo.co.jp

TEL : 075-353-5890 FAX : 075-353-5891

TEL : 075-753-9150 FAX : 075-753-9169(京大オフィス)

『画像からの対象検出、追跡、認識法』

講師： 和田 俊和 氏
和歌山大学 システム工学部 情報通信システム学科 教授

概略：

本講演では、ユーザが指定した対象を画像中から検出し、それを追跡すると同時に、認識を行う方法について述べる。

例えば、ボールや肌、あるいは顔などの対象を画像の中から検出し、これを追跡するとともに、例えば顔であれば「誰か」を認識するといったタスクを実行するいくつかの方法について紹介する。また、画像中の対象の追跡を行うだけでなく、追跡結果に基づいてカメラの方位を制御することによって常に画面中央に対象をとらえ続けるシステム、さらにそれをステレオカメラに拡張し、対象の3次元計測を行いながら、追跡を行うシステムについて、動画像を交えながら紹介を行う。

講師略歴：

学 歴

- ・昭和 59 年 3 月 岡山大学工学部電気工学科 卒業
- ・昭和 62 年 3 月 東京工業大学大学院 理工学研究科 情報工学専攻
修士課程修了
- ・平成 2 年 3 月 東京工業大学大学院 総合理工学研究科
電子システム専攻博士課程修了

職 歴

- ・平成 2 年 4 月 岡山大学工学部助手
- ・平成 6 年 8 月 岡山大学大学院自然科学研究科助手
- ・平成 7 年 4 月 岡山大学工学部講師
- ・平成 9 年 4 月 京都大学工学部助教授
- ・平成 10 年 4 月 京都大学情報学研究科助教授
- ・平成 11 年 5 月～12 年 3 月 カナダ、プリティッシュコロンビア大、
客員助教授
- ・平成 14 年 9 月～ 和歌山大学 システム工学部 教授

受 賞

- ・平成 7 年 6 月 デビッド・マー賞
(第5回コンピュータビジョン国際会議最優秀論文賞)
- ・平成 9 年 9 月 情報処理学会山下記念研究賞
- ・平成 11 年 5 月 電子情報通信学会論文賞

『画像から顔を検出、認識するための技術およびその実用化』

講師： 勞 世竝 氏

オムロン株式会社技術本部 コアテクノロジーセンタ 専門職

概略：

我々は日常生活の中で無意識的に相手の顔からその人を認識し、その人の性別、年齢、身分に合わせてコミュニケーションをする。しかしながら、このような人間にとって非常に簡単なことがコンピュータにとっては非常に難しい。第一に、画像の中から変化の富んだ人の顔を見つけることすら難しい。また、顔を見つけた後に、目、鼻、口などの顔器官の位置を正確に検出することも難しい。さらに、その顔が誰のか、男性か女性か、幾つ位の人かを推定することも難しい。

オムロンでは、このような課題を解決するための研究開発を長年で行ってきた。その結果、顔検出技術が写真現像器やカメラ、プリンタなどに広く応用されるようになった。顔の認識技術はセキュリティの分野やエンタテインメントの分野で実用化されており、性別年齢推定は主にマーケティングの分野での応用が期待されている。本講演では顔画像処理の基本原則とその応用の実例を紹介する。

講師略歴：

1984年中国浙江大学電気工学科卒、85年から92年まで京都大学電気工学研究科に留学後、オムロン株式会社に入社。主に知識情報処理の応用分野の研究開発に従事。最近約10年間顔画像処理の研究開発に携わり、オムロンで開発された世界トップレベルの顔画像処理技術 OKAO Vision の技術責任者。

ICPR, AVBPA, ICB などの国際学会のプログラム委員を務める。